

VineLinux3.2/Moodle_153_164

2025年 7月 8日
目次

- [VineLinux3.2/Moodle_153_1640](#)
 - [Moodleの移行（1.5.3→1.6.4）0](#)
 - [前処理0](#)
 - [ファイルのダウンロード0](#)
 - [ファイルの展開0](#)
 - [インストール開始0](#)
 - [Moodleの設定0](#)
 - [データベースのUTF-8化0](#)
 - [PHPとMySQLの文字コードの問題0](#)
 - [その他のファイルのUTF-8化0](#)
 - [Moodleの設定（UTF-8化完了後）0](#)
 - [バグフィックス&改良0](#)
 - [参考情報0](#)

Moodleの移行（1.5.3→1.6.4）

Moodleを、稼働中の1.5.3+から三重大版（1.6.4+）へ移行した記録。ここでは結果のみ書くが、実際の作業は試行錯誤の連続。半日かかりで、大変だった...



前処理

まず、データベース関係。

- Moodleで使用しているデータベースをバックアップしておく。
- バックアップしたデータを、別データベースにリストアしておく。
 - インストールに失敗しても、すぐに元の状態に戻せるように。稼働テストをしておくのはいうまでもない。
 - 今回は、データベースのバージョンアップを先に行っていたので、その流れで同じ内容のデータベースを2つ作っておいた。

次に、必要なファイルのバックアップ。tarとかで適当に。

- Moodle本体（1.5.3+）
- Moodleで使用しているデータ
 - 課題やプロフィールなど、アップロードさせたファイル等
 - これがデカかった...数十MBは軽くあったので、いらないファイルはあらかじめ消しておくこと。



ファイルのダウンロード

「[三重大学版Moodleソース](#)」からファイルをダウンロードする。

```
# wget https://portal.mie-u.ac.jp/src/moodle07.tar.bz2
```



ファイルの展開

ダウンロードしたファイルを展開して、インストール先に設置する。

```
# tar xzf moodle07.tar.bz2
# mv /hogehoge/moodle /hogehoge/moodle.bak
# mv moodle07 /hogehoge/moodle
```

このとき、Moodleのデータ用ディレクトリは、cache/の中身を削除しておく。



インストール開始

基本的に、奥村先生@三重大の[ご説明](#)の通り。

<http://サーバ名/moodle.install.php> にアクセスすると、インストールが始まる。

言語やデータベースの設定、システムの確認などが表示されるので、適切に設定していく。ここで、データベースを、2つ作ったどちらか一方にしおけば、作業に失敗しても、すぐに元に戻せる。

config.phpを作る画面では、表示された内容をコピーして、moodleディレクトリ内にファイルを作成する。ただし、「\$CFG->unicodedb」、「\$CFG->unicodecleanfilename」の設定はここではしない。あとでする。

```
# vi /hogehoge/moodle/config.php
```



Moodleの設定

config.php作成画面の「続く」をクリックすると、Moodleの設定が始まる。今回は、各種アップグレード作業がある。次のような感じ。

1. データベースのアップグレード（1.5.3用から1.6.4用にアップグレード）
2. Moodleの設定

- **ココで注意！**
- 前の環境がEUCだったため、画面が文字化けしまくったり、英語でしか表示されなかったりした...表示がかなり変な状態になるが、あせらず内容をよく読む。または、想像する（苦笑）

3. モジュールテーブルのアップグレード

- **ここでハマった...** 

- 標準のモジュールは問題なかったが、三重大学ご謹製のモジュール（mieattendance、miechoice）のところで問題が発生
- 次の2つのファイルの下の方にある、INSERT文でエラーが発生して、作業が進まなくなる

mod/mieattendance/db/mysql.sql

mod/miechoice/db/mysql.sql

- とりあえず、該当箇所をすべて次のように修正して、なんとか作業をすすめた（ここが一番しんどかった）

修正前：INSERT INTO prefix_log_display VALUES ('mieattendance', 'view', 'mieattendance', 'name');

修正後：INSERT INTO prefix_log_display (module, action, mtable, field)

VALUES ('mieattendance', 'view', 'mieattendance', 'name');

4. その他のアップグレード



データベースのUTF-8化

ひと通りのアップグレードが終わると、システムが使えるようになるが、ここで重要な作業がある。データベースのUTF-8化である。Moodle 1.6には、UTF-8への移行ツールがついているので、管理メニューの一番上にあるリンクをクリックして、UTF-8化する。今回は問題なく終了できた！

ココまで終わって、はじめて日本語の言語パックが利用可能になる。つまり、日本語表示が可能となる。



PHPとMySQLの文字コードの問題

いろいろ設定し始めると、日本語を入力して設定した部分がおかしい。使用しているデータベース（MySQL 4.1.18）はバイナリバージョンをインストールしているので、文字コード変換関係があやしい。

そこで、.htaccessに次のように記述。Moodleのディレクトリに入れることで、対処できた。

```
<IfModule mod_php5.c>
  php_value default_charset          UTF-8
  php_value mbstring.internal_encoding UTF-8
  php_value mbstring.script_encoding  UTF-8
  php_value mbstring.http_output      UTF-8
</IfModule>
```

ほかにもおかしいのがあったが、面倒なので、phpMyAdminを使って、直接データベースの内容を書き換えた。



その他のファイルのUTF-8化

下の2つの情報を参考に、MoodleのデータファイルのUTF-8化をした。ただし、やるのは、各コースのデータだけ。

- <http://oku.edu.mie-u.ac.jp/~okumura/linux/?Moodle%201.6#x7954ed8>
- <http://oku.edu.mie-u.ac.jp/~okumura/linux/?Moodle%2FUTF-8>

今回は、どうもUTF-8化はされなかったみたい。



Moodleの設定（UTF-8化完了後）

次の2つの内容を、追加する。これで課題など日本語の名前のファイルをアップロードしても、日本語のファイル名のまま表示・処理してくれる。

```
$CFG->unicodedb = true;  
$CFG->unicodecleanfilename = true;
```



バグフィックス&改良

- 各コースの管理メニューで、ページが真っ白
 - /home/moodle/course/student.phpの不具合だったので、該当箇所を修正
- 学生の一覧でユーザ名を表示させたいので、改良
 - 評価：/home/moodle/grade/lib.php
 - 投票：/home/moodle/mod/choice/lib.php、/home/moodle/mod/choice/report.php
- プロフィールの編集画面で、「姓→名」の順になるように改良
 - /home/moodle/user/edit.html



参考情報

- [三重大学版Moodleソース](#)
- [Moodle 1.6](#)（奥村先生@三重大のWiki）
- [Moodle/UTF-8](#)（奥村先生@三重大のWiki）
- [Moodle（本家）](#)
- [Moodle Docs（日本語）](#)（1.6へのアップグレードやUTF-8への移行についての説明がある）